

INDEX – press kit

- Africa Works: プレスリリース
- Birima
- Benetton Group
- セネガルについて
- Alessandro Benettonのプロフィール
- Youssou N'Dourのプロフィール
- James Mollisonのプロフィール
- Colors 73

UNITED COLORS
OF BENETTON.



2008年2月13日

AFRICA WORKS

2008年2月

セネガルのマイクロクレジットを支援する
ベネトンの新しい世界キャンペーンが始動
世界的音楽家、ユッス・ンドゥール氏と共に掲げる
マイクロ・クレジット・プログラム Birima
「アフリカの人々のためのアフリカ」をベネトンがサポート

UNITED COLORS
OF BENETTON.



ベネトンは2008年、起業家スピリットに富んだアフリカにスポットライトをあてます。

今年のベネトンのグローバル・キャンペーンは、セネガルの国民的音楽家ユッス・ンドゥール (Youssou N' Dour) が創設した共同融資団体ビリマ (Birima) ・マイクロクレジット・プログラムを推進します。

ベネトン・グループは、このプログラムに対して 財政支援をしています。

Africa Works は、アフリカが生み出したキャンペーンのスローガンで、2008年2月以降、世界中のビルボードやマスメディアに登場します。このキャンペーンでは、マイクロクレジットによる小額融資により、実際に 小さな個人経営ビジネスを始めた「働くセネガルの人々」をモデルとして起用します。

写真家ジェームス・モリソン (James Mollison) が、無地の背景をバックに、働くためのツールを手にした彼らのポートレートを写し出します。主役たちは、漁師、デコレーターや、ミュージシャン、宝石職人、農場主、洋服屋、二人の織物売り、ボクサーなど多岐に渡ります。「働くこと」の尊さをもって貧困と戦い、公平な発展を促し、資源を最大限に利用し、その未来を築く責任を取り戻すアフリカ。

このような普通の人々がアフリカの象徴なのです。

ベネトン グループの副会長であるアレッシンドロ・ベネトンは、「私たちが、この重要なプロジェクトを支援し、推進する理由は、従来の共同利益を目的とした活動とは違い、このプロジェクトが、小さな地域の起業家がマイクロクレジットを効果的に利用することにより、より具体的な支援をうけることができることです。正確には、このプロジェクトが起業家としての才能、努力、そして未来への希望に基づいていることから、効果的にアフリカの新しい一面を広めることができます。」と、このプロジェクトを支援するベネトンの信念を説明しています。

世界的に有名な、アフリカ出身のミュージシャンであり、人道的プロジェクトに全力を投じるユッス・ンドゥールは、「私の個人的な体験を通して、たとえ僅かな額でも、融資がアイデアを発展させ、そしてプロジェクトを実現するために使われるとき、それが貧困と戦う効果的な方法になるということを理解しました。このような理由から、世界中の人々がマイクロクレジットの価値を理解する必要があると考えています。アフリカが必要とするものはチャリティーではなく、払い戻しのできる奨励金付きローンなのです。」とコメントを寄せています。

このたび 公式にダカールで発表される新しいベネトンのキャンペーンは、広告に加え、イベントやプロジェクトがシリーズ展開される予定です。

COLORS NO. 73 では、特別版として「お金 (money) の無数なるカタチ」をテーマに、あらゆる角度から Money と呼ばれる物質を分析し、多くのストーリーを紐解きます。

そして、2000年にユッサー・ンドゥールにより発表された曲「ビリマ Birima」の新バージョンが、パティ・スミス (Patti Smith) を始め、シンフィウエ・ダナ (Simpfiwe Dana)、イレーネ・グランディー (Irene Grandi)、フランチェスコレンガ (Francesco Renga) など、多国籍なアーティストとのコラボレーションで生まれ変わります。この曲のビデオクリップは、今回、セネガル人のコミュニティーと、テレビ放送のために特別に、文字を使わずにマイクロクレジットを人々に広めるアニメの製作を果たした FABRICA が、同じく担当しました。

www.birima.org は、ベネトンが当キャンペーンと関連イベントのために捧げるウェブサイトであり、こちらも FABRICA によって製作されました。

ユッサー・ンドゥールのワールド・ツアーの一部として 2008 年の 4 月 5 日にパリのベルシーで行われるライブでは、アフリカ・ワークスがステージに登場します。

ンドゥールの共同融資団体であるビリマは、中小企業経営者、職人、専門家やアーティストらが、独立して事業展開に着手できるための手助けをします。ビリマは、歌手ユッサー・ンドゥールが国際的な成功を収めた楽曲のタイトルであるだけでなく、セネガルの伝説的な王の名前でもあります。ビリマ王は、年に一度しか聴衆の前で話さなかったことから、口にした約束を守る意義と、信用金庫の基本となる道徳規範のシンボルとなりました。融資を申し込む人は、その言葉と家族の名誉以外、いかなる担保を提示する必要はありません。

アフリカの伝統と、深く根ざした名誉と尊厳の原則に基づき、ビリマは、大陸の未来に期待を寄せ、増加する財政的支援の必要性に自信を持って応えます。提案されたプロジェクトが、その地域社会にプラスの効果を発揮し、利益と発展が保障されるという条件で、ビリマでは、通常のマイクロクレジットと比べ、より高額な融資をより長期間に渡って提供します。セネガルを起点として、ビリマ独自の進化した融資を、徐々に他のアフリカ諸国へと広げて行く予定です。セネガルが、アフリカで最も安定した国の一つである一方で、国内の貧富の差が未だに大きいことが、このパイロット・プロジェクトの地として選ばれた理由です。

ベネトン広告の核となるコンセプトが、この新しいキャンペーンの中であらためて表明されています。セネガルで仕事の資金提供のための基金を支援し、普及させることで、ベネトンは、利益を生むために設けられた組織と共同することの重要性を明確にします。同時に、このキャンペーンでは、如何に一人の人間の約束が歯車となり、社会全体を動かすことができるかを強調します。こうした考え方は、2001 年、ボランティア国際年に国連ボランティア計画と協働して制作したキャンペーン *Volunteers in Colors* や、WFP 国連世界食糧計画と協働した 2003 年の *Food for*

Life キャンペーン、霊長類の保護を訴えた 2004 年のキャンペーン *James & Other Apes* でもはっきりと示されました。

Africa Works プレスウェブサイトのご案内

ベネトンの新しいグローバルキャンペーン、「マイクロクレジット・アフリカワークス」に関しまして、この特別イベントに関するプレス用ウェブサイトが設立されます。

<http://www.benetton.com/africaworks-press>

オフィシャルキャンペーン画像、撮影&製作の舞台裏を含めた100点を超える高画質画像と共に、6ヶ国語（フランス語、英語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、日本語）の完全版プレスキット、そして公式記者会見に撮影された動画が、2/13日のイベント終了後すぐにアップロードされます。

ダカールで 開かれる記者会見日、2月13日の水曜日のイベント30分前、10:30 p m（日本時間）からアクセス可能です。

詳しいお問い合わせは：
ベネトン・ジャパン広報部
渡辺教子 watanabe@benetton.co.jp
大島さやか oshima@benetton.co.jp

tel. 03-5474-7089

fax. 03-5474-7153

www.benetton.co.jp

Birima/ビリマ

UNITED COLORS
OF BENETTON.



ビリマ (Birima) は、事業計画や将来性のある活動のために資金が必要でありながら、十分な抵当を入れることができないセネガルの人々を支援する目的で、ユッソー・ンドゥール (Youssou N' Dour) が創設した共同融資団体です。

ビリマ (Birima) は、ユッソー・ンドゥール (Youssou N' Dour) のアルバム『ジョコ』 (*Joko: From Village to Town*) の中の楽曲のタイトルで、19世紀のセネガル王の名前に由来しています。ビリマ王はとても謹厳で (民に対し年に一度しか語らず、) 口にした約束を守ることをとても大切にしました。このマイクロクレジット団体がビリマ (Birima) と名付けられた理由は、まさにこのプロジェクトの対象となる人々であれば、容易く理解できるセネガル人の民族的な価値観に深く根ざしているからです。ビリマ (Birima) からインスピレーションを得て、ローンを申し込む人々は抵当に入れるべき唯一のものは彼らの口にした約束であり、自分たちと家族の名誉であることを理解しています。

銀行と従来型のマイクロクレジットの間に失われていた結びつきを埋め合わせるかのようにビリマ (Birima) では、マイクロクレジットの原則を尊重しながらも改善された金融商品のマネージメントを提供します。ビリマ (Birima) は各ローン受給者に合った持続可能で競争力のあるソリューションを提案し、アフリカの平均よりも高い中・長期的な融資やローンを提供します。

ビリマ (Birima) は、他の方法では資金提供を受けることができない中小企業者や職人、専門家、アーティストが、独立した活動に着手し展開できる資金を融資することを目的としています。

ローンを申し込む際に提出された計画への融資は、利益見込みのみならず、社会的価値や、地域社会に対する有益な影響が見込まれるか否かを基準に判断されます。

Benetton Group – ベネトン・グループ

UNITED COLORS
OF BENETTON.



現在、ベネトン・グループは、世界120ヶ国に進出しています。主要ビジネスは、衣料品です：イタリア製にこだわりを持ち続けるグループのスタイル、デザイン技術や情熱は、カジュアルな「ユナイテッド・カラーズ・オブ・ベネトン」、ファッション性の高い「シスレー」、「プレイライフ」のレジャーウェア、そして「キラーグループ」のストリートウェアに明確に表されています。

ベネトン・グループは、毎年約1億5000万着以上を生産しています。現在世界5000ヶ所の販売ネットワークは、ハイクオリティのカスタマー・サービスを提供し、売り上げ高は約20億ユーロとなっています。

ベネトンの販売網の展開は、世界各国への主要な投資計画に支えられています。

メガストアの特徴は、広いスペース、歴史的ならびに商業中心地における一流の立地、そして高レベルのカスタマー・サービスにあります。ベネトンストアは、トータルなレディースカジュアル、ならびにメンズウェア、子供服、アンダーウェアのコレクション、幅広い品揃えのアクセサリを網羅し、ベネトンのあらゆるスタイルとクオリティを提供しています。

販売網と同様、発展への重大な要素となっている絶えざる革新への姿勢は、コミュニケーションからIT、新しい素材研究から総合物流施設まで、常にベネトン・グループのビジネス組織を特徴付けています。生産における革新にも特別な注意が払われており、全てのシステムと設備は、5年毎に完全にリニューアルされます。ベネトンの生産システムは、トレヴィゾのカストレッティにある、世界最先端の衣類製造複合施設であるハイテク施設により実現されています。

ベネトン・グループは、世界的に普及しているにも関わらず、発祥の地である地元との密接な関係を保ち続けています。特に、「文化研究リサーチ・ベネトン財団」の文化活動と、スポーツ関連のイベントを通じて大きな貢献をしています。ラグビー、バレーボールとバスケットボールへの関わりから、フォーミュラ1での歴史的勝利まで、ベネトンのスポーツへの取り組みは、競技の素晴らしさだけでなく、出会い、分かち合い、そして身体の健康などの社会的側面にも焦点をおいており、これら全ての活動は、毎年何千もの若い人々をスポーツの世界に魅了するという成果を出しています。

グループの社会に対する関わりも、ベネトンのコミュニケーション・リサーチ・センターであるファブリカによって明らかです。ファブリカのチャレンジは、革新的であり、国際的です。それは、通常の宣伝広告の形態だけでは頼らず、その他の手段（デザイン、音楽、映画、写真、出版、インターネット）を通じて「産業のカルチャー」と企業の「インテリジェンス」を伝える宣伝広告手段を用いてカルチャーと産業を結びつけるチャレンジです。

Senegal/セネガル

UNITED COLORS
OF BENETTON.



セネガルは、アフリカ北西海岸に横たわるかつてのフランスの植民地であり、北アフリカとサハラ以南のアフリカを結んでいます。

またヨーロッパや南北アメリカとアフリカ間の海路、陸路における連絡路でもあります。セネガルは1960年に独立を獲得し、今日は普通選挙によって選ばれた安定した大統領制による政権基盤を持つ共和国です。セネガルは、アフリカで植民地から民主国へと遷移した最たる例だと考えられています。

セネガルの大幅な経済改革は国際社会の支援を得て、1990年代に始まりました。主産業には食品、鉱業、セメント、化学、繊維、石油と観光があります。

セネガルの人口は1千万人を超え、その殆どは、農村部で生活しています。男性よりも女性の方が若干多い一方で、年齢と地域によってその分布には大きな違いがあり、移出率の高い地域では、20-40歳男子が著しく不足しています。

アフリカの中でセネガルの学校教育は最良とされているにも関わらず、人口の50%以上は読み書きができません。年間成長率をよそに、人口の半分以上が、貧困ライン以下の一日1米ドル未満で生活しています。

世界銀行によれば、セネガルの貧困を軽減するためには、成長を促進し、国家の介入を進め、効率よく最低貧困層に手が差し伸べられる改革が早急に必要であるといえます。

これらの問題に対する一つの効果的な回答がマイクロクレジットです。マイクロクレジットは、「全ての人の」、とりわけ悲惨な収入状況と教育の欠如が融資を利用する深刻な妨げとなっている女性の、経済活動の再出発支援を目的とした財政支援の形です。

ALESSANDRO BENETTON/アレッサンドロ・ベネトン

UNITED COLORS
OF BENETTON.



アレッサンドロ・ベネトンは、ベネトン グループSpAの副会長です。

1998年にベネトン グループ SpA、エディツィオーネ・ホールディング及びアウトグリルの取締役となり、ベネトン グループの経営委員会の委員も兼任しています。

アレッサンドロ・ベネトンは1993年に投資銀行として設立された21インベスティメンティS. p. A. の会長兼創始者でもあります。

今日21グループは、プライベートエクイティファンドのシステムを採用し、10億ユーロ規模の管理資産を主にフランスやイタリアを中心に運用しています。

1964年3月2日生まれ。アレッサンドロ・ベネトンはルチアーノ・ベネトンの息子で優秀な成績でボストン大学の理学士号を取得、1991年6月にはハーバード大学でMBAを取得しました。

1988年から1989年にかけて、ロンドンのゴールドマン・サックス・インターナショナル、グローバル・ファイナンス部のM&A及び株式提供部門にてアナリストとして勤務。

1988年から1998年にはベネトン・フォーミュラの会長を務め、この間、フォーミュラ1のチームは、1度のコンストラクターズタイトルと2度のワールドドライバーズタイトルを獲得しました。

2002年5月にはボッシュグループの海外活動の顧問機関であるスイス、チューリッヒのロバート ボッシュ インターナショナル ベタイリグンゲン アーゲーの諮問委員会でイタリア人初の委員となりました。

2004年にはコンフィンドウストゥリア(産業総同盟)会長のルカ・コルデーロ・ラントツァ・マルケーゼ・ディ・モンテゼーモロの招きを受け、主にアメリカ大陸やアジアからのイタリアへの投資を誘致する任務を委任された大使を務めました。

YOUSSOU N' DOUR/ ユッスー・ンドゥール

UNITED COLORS
OF BENETTON.



「力、才能、道徳的手本」として突出した世界で最も影響のある 100 人の中の 1 人（2007 年 5 月 Time 誌）であるユッスー・ンドゥールは、何よりもセネガルの音楽を世界にもたらした人物です。

彼は世界的に有名なミュージシャンであり、歌手で打楽器奏手です。

彼はアフリカ人であり、ダカールに住み続けることを選ぶなどアフリカに対し深い愛着を持っています。

伝統的なアフリカ音楽とキューバのサンバ、ジャズやヒップホップなどの多様な影響を融合し、ピーター・ガブリエル、スティング、ポール・サイモンやトレイシー・チャップマンら有名アーティストと共演を果たしてきました。

IMC(国際音楽評議会)・ユネスコ国際音楽賞(2004年)、グラミー賞(2005年)他、数々の音楽賞を受賞。

カリスマ的ミュージシャンで、子供の権利の擁護者であるンドゥールは、1988年にアムネスティ・インターナショナルの『ヒューマン・ライツ・ナウ!』(Human Rights Now!) ツアーに参加、1991年にはUNICEF大使となりました。

2007年にはG8サミットに参加、ロックストックのDeine Stimme gegen Armut(貧困に対するあなたの声)コンサートに参加し、参加国にアフリカのAIDS撲滅運動に対する支援増を訴えました。

Birima(ビリマ)は彼の新しい社会的なプロジェクトです。

JAMES MOLLISON/ジェームス・モリソン

UNITED COLORS
OF BENETTON.



1973年ケニア生まれ。オックスフォード・ブルックス大学で芸術とデザインを専攻。Newport School of Art and Designでドキュメンタリー写真を学ぶ。

1998年にファブリカで活動を開始し、翌年には初の単独写真集であるイタリア、ヴェネト州における移民労働者の研究*Lavoratori*と、ボローニャサッカークラブの90周年を記念し、そのファンの情熱にカメラの焦点を合わせた*IO? Bologna!*の2冊を出版。

2000年には、バルカン半島諸国の紛争の研究である3冊目の写真集*Kosovars*を出版する。

2001年にはベネトンの企業キャンペーンと子供服キャンペーンの撮影を担い、雑誌『カラーズ』の常時貢献者（コントリビューター）となる。

同年、国連ボランティア国際年を支持したベネトンのキャンペーンを手掛け、ボランティアの固定観念に挑む。

2002年には、ベネトンのキャンペーンを再び手掛ける。このキャンペーンは、世界的な飢餓と第一線で戦う国連機関であるWFP国連世界食糧計画と共同で展開された。また、このキャンペーンの補足資料であり雑誌『カラーズ』54号の*Hunger*のクリエイティブ・エディターを務める。

2004年、モリソンは、ベネトンのコミュニケーション・プロジェクトである類人猿を扱った*James and other Apes*を実現、ロンドン自然史博物館での展示会や書籍*James and Other Apes*(2004年Chris Boot社出版)で広く知られる。

彼の作品は *COLORS*, *the New York Times magazine*, *the Guardian magazine* や *Le Monde* などを通じて世界中で発行されている。モリソンの最新図書 *the Memory of Pablo Escobar* は、最近英国の出版社 Chris Boot 社から出版された。

現在ヴェネチア在住。

COLORS A MAGAZINE ABOUT THE REST OF THE WORLD

『カラース』73号-Money/マネー 世界のその他のお金について語る雑誌

2008年1月、トレヴィゾ。人々は、それを手に握り締める。あるいは他の人間の手に落としたり、ポケットに詰め込んだりする。私たちは、自覚する以上にそのために多くの時間を費やす一方で、全く知らないよそ者のように扱う。しかし、それなしでは生きていけず、それがどこから来たのか、そしてどこへ行くのか、どのくらいの価値があるのかを問い続ける。

『COLORS』73号は、誰もが欲しい人生の伴侶「お金(MONEY)」に注目する。無数の形を持つお金。何百万回も触られて、高貴であり、そして卑しむべきもの。お金はそれを所有した人とその活動の痕跡を抱え続ける。『COLORS』では、科学的実験を通して紛れもないその紙幣という物質を探究し、それに根を下ろした人々の歴史について詳細に調査した。国際的に有名な経済学者が語る、先進諸国のお金。そして、従来のかたちとは異なる第三世界の経済、そこで繰り広げられる外の世界からの支払と取引について。

例えば、Efigeniaの宝物は、注意深く分類されたごみの山である。彼女の地元ブラジルクリチバ市では彼女の「貯蓄」で食べ物を買える。グリーン・エクスチェンジと呼ばれるもので、Efigeniaはこの種のビジネスにおいてなかなかの起業家となった。一方バグダッドでは、何リットルもの血液が失われ現金に換えられる。正確には3,500米ドル。Sayefが息子の輸血のために闇市場に支払った金額である。

もし、貴方の問題がどこにお金を置いておくかということであれば、Gomam氏やMir氏、Yole氏、Yaghot氏を真似てみては如何だろうか？ソビエト連邦が崩壊したとき彼らは大きな不安を抱いた。そこで、他の多くのアゼリー人同様、口の中を金の歯で埋めた。いつの日か黄金の歯が役に立つ日が来るかもしれない。そのときまで、安全な場所に置いておこうではないか。ケニアには銀行はない。だから、黄金は必要ない。お金はテキスト・メッセージを通して振り替えられ、預けられる。

Redazione / Editorial Office
Fabrica, Via Ferrarezza
31020 Catena Di Villorba
(TV) Italy

t +39 0422 516315
f +39 0422 516297
e colors@colors.it
w colorsmagazine.com

Editore: Fabrica S.p.a.
Villa Minelli
31050 Ponzano (Tv) Italia
Società a Socio Unico
Cap. Soc. € 4.128.000 i.v.
Società Coordinata e Diretta
da Benetton Group S.p.a.
C.F./R.I. di Treviso
n° 01926330265
R.E.A. n° 177353
P.Iva 01926330265
Cod. Iso: IT 01926330265

ごみ、血液、金属。そして灰、油、コカイン、土、皮膚、シリコン、糞便、プラスチック、セルロース、インク。お金の問題と本質を巡る『COLORS』の旅は、マイクロ・ローン返済しようと働く人々の汗で幕を閉じる。『COLORS』のミニ事典“golden pages”の説明は第三世界と先進諸国間の連合から、大きな数字の経済にまで及ぶ。世界にはどれだけ黄金があるか？など、好奇心をそそる事実から、戦争、石油、麻薬の収益まで。

『COLORS』73号- Money/マネー

英語にイタリア語・フランス語・スペイン語のいずれかを加えた2ヶ国語版3版を、2008年2月より発売。